

市交際費の支出状況



令和6年4月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	1	5,000
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	1	10,000
御祝	今月分	4	12,200
	累計	4	12,200
賛助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	0	0
	累計	0	0
会費	今月分	1	6,000
	累計	1	6,000
その他	今月分	1	4,100
	累計	1	4,100
合計	今月分	8	37,300
	累計	8	37,300

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

「梅雨の晴れ間に」

6月の雨の中、美しく凛と咲く紫陽花は梅雨の風物詩とも言える存在です。花びらは多くの小さい『がく』で構成されています。同じ株でも花の色が異なることがあり、さらには時間の経過とともに色が変わっていくという面白さもあります。それぞれの花びらが融合し、多様な色彩が混ざって美しい風景を創り出しています。

私たちも一人ひとりが異なる存在であり、個々の文化や背景もさまざまです。人々が集まり、学校・職場・地域などを構成し、社会で暮らしています。そして、すべての人が人間らしく生きる基本的な権利を持っています。さまざまな年齢、国籍、性別の

tomon i kiru

人、障害のある人ない人も、いろいろな人たちがいろいろな思いで共存しています。

一人ひとりにできることは、無自覚に無責任な言動や行動をしていないか、関心を持ち、対話し、理解し、互いの違いを認め合うことです。そして尊重した上で、なおお互いにつながることで、偏見や差別の問題を減らし、新たな発想や解決策を見つけて出すことができるのではないのでしょうか？

紫陽花を通して、人権について考えてみました。多様な私たちが共存して織成す社会こそが、人間の尊重と自由が守られ、私たちが私たち自身でいられると思います。美しい紫陽花の下で季節を体感しながら、人に優しい社会を実現できる日を目指しています。

社会教育指導員 宮下

Message for citizen



市長コラム



ちよつと気が早い話かもしれませんが、今秋の多久まつりに合わせ、東京おもちゃ美術館が多久にやってきました。特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会が運営する美術館で「親子で遊び、文化を伝え、世代を繋ぐ」をめざし、木製おもちゃを中心に子どもの心身の健やかな成長を願い、活動展開されています。

今年の多久市市制施行70周年にあわせ、移動型おもちゃ美術館である「木育キャラバン」スタイルで多久市に来訪され、ステキな空間を作って頂きます。今からの楽しみです。

美術館といってもいわゆる館内で作品などを鑑賞するスタイルではなく、見て、触れて、遊んで、交流し、感動し、親子の絆を深めたり、新たな出逢いを見つけたりの活動が軸です。理念として「赤ちゃんからお年寄りまでの多世代に向けて、豊かな出会いと多様な出番を

今秋おもちゃ美術館がやってくる

市長 横尾 俊彦

5月22日記

有するミュージアムを目指します」と謳われ、クリエイティブな活動を展開されています。

先日、東京都内の本部を訪ね、開催中の「おもちゃまつり」も拝見しました。まさに「おもちゃと遊びに出会える祭典」で、わんさか人が集まって、笑顔と歓声がいっぱいでした。

多田千尋館長直々に熱心に案内説明をいただきました。お父上が始められた活動が歴史を超えて紡がれ広がる様子が素晴らしい。理念や願いのもとに始めることの大切さを改めてご教示いただき感謝しました。

全国におられるおもちゃや学芸員ほかの皆さんも駆けつけ、熱心で創意工夫いっぱいでの対応と遊具・仕掛けも素晴らしい。

秋に向けて、そんな遊びと笑顔満載の空間創出を多久でも創造したいと願っています。

季節は水無月。雨の季節です。防災と健康にご留意ください。